



目指す
児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年 6月10日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No.72

令和7年度 第20回平戸市「少年の主張」大会 終了

6月8日(日)に平戸文化センターにおいて、令和7年度 第20回平戸市「少年の主張」大会が開催されました。各学校からの代表が発表しました。本校からは、6年生の〇〇〇〇さんが代表として参加し、発表しました。練習を始め、日に日に上達する〇〇さんに感心し、あの大舞台の中、堂々とした態度で発表している〇〇さんを見て、感慨深いものがありました。〇〇さん、本当にお疲れ様でした。

平戸の名を海外へ

6年 〇〇 〇〇

「じゃがたらお春」

この曲をみなさん知っていますよね？僕は、福田酒造の息子です。僕の将来の夢は、誰もが絶賛するお酒を作り、福田酒造を志々伎から平戸、長崎、全国、海外へと広めていくことです。

僕はこの夢の実現のために、今複式学級でとてもいい経験をしています。みなさんは、複式学級と聞いてどんなイメージをもちますか？人数が少なくて可哀そう…人数が少ないと不便ではないの？と思うかもしれませんが、確かに人数は少なくて寂しい感じがするかもしれませんが、複式学級にはいいところがたくさんあります。僕が2年生の3月、複式学級になることをとても楽しみにしていました。なぜなら、4月になって複式での学習が始まり、3年生の頃は4年生と同じ教室なのでとても嬉しかったことを覚えています。しかし、4年生になる頃は、複式学級になるのが嫌でした。それは、1歳下の弟と同じクラスになるからです。「家でも一緒。学校でも一緒。何でお世話せんばとかって。」と思っていたからです。しかし、そんな気持ちは一瞬で、新しい複式学級でも楽しいことはたくさんありました。

まず、下の学年になると1つ年上の人と勉強したり遊んだりできるので、色々なことを学べます。特に僕は去年、最高学年として学校をまとめることの大切さを6年生から学びました。今年は4月に1年生が入学してきたので、最高学年として1年生のお世話をしたり、学校行事を盛り上げたりと、先のことを考えて一生懸命行動しています。

(次号へ続く)



目指す
児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年 6月10日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No. 73

次に、全校児童と触れ合える時間があり、仲が深まります。上級生が下級生に様々なことを教えることによって、教える側も自分の知識を深めることができ、教えられる側も親しみやすく学ぶことができます。下級生や上級生と触れ合うことで他者理解や協力の精神が育つと思います。こうした環境に感謝し、僕はさらに社会性やコミュニケーション能力を高めようと思います。

そして、地域の方がゲストティーチャーとして学校に来てくれて、きれいな花を植えたり、お米作りを教えたりしてくれます。地域の方が僕たちのために、いちご狩りやおさかな教室などもしてくれて、先生方やお家の方だけでなく地域の方も僕たち28名を大切に育ててくれます。そんな素敵な町に生まれて、志々伎小学校に通えていることが僕は嬉しいです。

僕は、この複式で学んでいる、社会性やコミュニケーション能力を生かして、おいしいお酒を作って東京に行き、おじいちゃんやお父さんのように様々な地域に友達を作りたいと思っています。海外ではあまり知られていない日本酒なので、海外などにも行って日本酒のことを広めながら海外にも友達を作りたいです。蔵開きの時には、外国の方や様々な地域の方がお酒を買いに来てくれます。試飲したお客さんが「おいしいですね。」と言ってくれると僕はとても嬉しくなり、「夢を叶えるぞ!」と強く思います。地域の方は「うまか酒ばちょうだあい。」と言って買いに来てくれます。地域の方に愛されていることが僕の自慢です。

そしてさらに、ユーチューバーとしてユーチューブで、自分が作っているお酒を紹介したり、こんな料理にはこのお酒が合うことなどを伝えたり、誰かに試飲してもらった感想を配信したりしたいと思います。将来の夢を叶えるためにできること。それは、平戸のことをもっと知ること、今のうちから社会性やコミュニケーション能力を高めることだと思います。

夢を夢のままで終わらせません!複式で学んでいることをいかし、将来の夢を実現させるために日々努力します。平戸の名を全国に、そして海外へ!